

この通知は、来年2月ごろから再来年2月ごろまでの間に裁判所に来ていただき、裁判員に選ばれる可能性があることを事前に伝え、あらかじめ心づもりをもらうためのものです。

なお、この段階では、まだ具体的な事件の裁判員候補者に選ばれたわけではありませんので、すぐに裁判所に来ていただく必要はありません（実際に裁判所に来ていただくことになった場合には、別途お知らせします）。

問合せ先

名古屋地方裁判所岡崎支部

裁判員係

☎ 0564-5118428

農作業の求人・求職

地元農家の労力不足を補うため、JAあいち中央では、職業安定法による無料職業紹介事業を始めました。作物ごとの収穫時期や農作業で労働力を必要としている農家と、パートナーとして農作業をしたい方の橋渡しをします。

問合せ先

JAあいち中央営農支援室

☎ 73-4444



東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー フラッグ展示

オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグが全国を巡回するイベントが行われており、高浜市にも展示されることになりました。当日はフラッグといっしょに写真撮影もできます。短い時間ですが、ぜひご覧ください。

と き / 11月13日(火) 午後1時から4時

と ころ / いきいき広場 2階ホール

内 容 / オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグ展示、大会関連パネル

問合せ先 / いきいき 文化スポーツグループ (内線331)

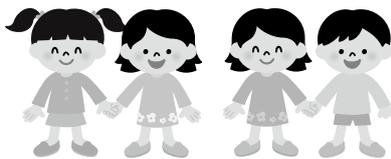


主催：東京都／東京2020組織委員会／JOC／JPC

11月1日は、 たかはま子ども 市民憲章の 制定記念日です。

市では、市内に暮らすすべての子どもが主体的に社会に参画し、子どもの自己実現が図れるよう支援するとともに、子どもの権利擁護の推進を図るため、平成15年11月1日に「たかはま子ども市民憲章」を制定しました。

皆さんもこの機会に子どもとおとなの意識の違いについて、話し合ってみませんか？



問合せ先

いきいき こども育成グループ

☎ 52-1111 (内線364)

たかはま子ども市民憲章

平成15年11月1日制定

わたしたちは、国連・児童（子ども）の権利条約の理念をふまえ、人間性豊かで誇りの持てる高浜を創っていきます。そのためには、子どもとおとなが市民として、互いの意思と力を尊重し、理解を深め合うことが大切です。そこでわたしたちは、現在及び未来の高浜のまちを支え合っていくために、ここに「たかはま子ども市民憲章」を定めます。

【子どもから】

- みんな幸せになる権利がある。だから、自分の心を閉ざさないで。短所も、別の見方をしたら長所かもしれない。自分のことをもっと好きになって楽しもう！
- わたしは世界でただひとり、だから大切。あなたも世界でただひとり、だからやっぱり大切。お互い大切なんだから、いやがることはしないようにしましょう。
- 学校の勉強だけが学ぶことじゃない。遊びからも友達からもたくさん学ぶことができる。だから遊びと友達を大切に。もちろん勉強も大切！
- けんかにはほどほどに。けんかもそんなに悪いことじゃない。けんかから学ぶことだってあるしね。
- 怒りたくてもすぐにださない。趣味や夢をみつけて発散しよう！それでもイヤなことがあったら「ムカつく」の一言で終らせないで、自分の感情をもう少し細かい言葉で表現してもいい。
- ひとりで悩んだりしないで、だれかに助けを求めたっていい。別に恥ずかしいことじゃないからさ。
- なんでも今、自分が「一番」とは限らない。でもそれに近づこうにがんばって上をめざしていこう。自分らしい、自分なりのがんばりで、コツコツ コツコツ少しずついいよ。
- 何事も全力投球！でも気楽に行こう。チャンスはいつもそばにある。

【おとなから】

- 自分を大切に、希望をもって生きる姿勢を示していきたい。
- どの子どももみんな一人ひとり違います、その違いをその人の豊かさとして受けとめます。
- 子どもが自分と周りを変える力をつけるために学び、活動していくことを支援します。
- 完全さを求めず、子どもが自分を出せるようにゆとりと寛容さをもって接します。
- 子どもに愛情を持って接し、干渉しすぎたり、ひとりで背負い込まないで、地域の人びととともに子どもの自治を支え、楽しく子育てを進めます。
- 子どもが安心して集い、交流し、ありのままの自分を出せるような居場所を子どもとともに創っていきます。
- いじめや虐待など権利侵害を受けることなく、子どもが安心して生活できるように、いつも相談でき、救済・回復できるようなしくみを整えるよう努めます。
- 子どもとともに、民族的、国民的、宗教的な偏見を持つことなく、相互の理解、寛容の精神のもとで、地球市民として日本と世界の平和を願い、この世界から戦争や争いがなくなるように努めていきたい。